

12月定例会のあらまし

12月定例会は11月24日から12月22日までの29日間の会期で開催されました。

初日には、人事案件である人権擁護委員3名の推薦を、全会一致で適任としました。また、「関西本線弥富駅自由通路新設及び橋上駅舎化工事の協定の変更に ついて」はじめ8議案と、「給食費の無料化および子育て支援の拡充を求める請願」はじめ2件の請願が提出されました。中日には、「令和5年度弥富市一般会計補正予算(第5号)」はじめ8議案が追加上程され、所管の委員会に付託しました。これらを所管の委員会において審査し、議案は全て原案どおり了承され、請願は不採択としました。

最終日には、「令和5年度弥富市一般会計補正予算(第6号)」はじめ2議案が追加上程され、提案された18議案は全て可決し、請願2件は不採択としました。また、発議第5号「斑点米カメモシ類による農作物被害に伴う早期駆除支援及び収量減少に伴う経済支援を求める意見書の提出について」は、全会一致で可決しました。

本会議初日



議案質疑



弥富市立学校設置条例の一部改正について

問 廃校にあたり地域住民への意向調査などは行ったのか。

答 小中学校PTAの代表や地域の保育所保護者代表、区長の意見を聞いた。

問 どのような理由で統廃合にいたるのか。

答 児童数が減少傾向にある各地区の児童・園児をもつ保護者を対象に実施したアンケートで、現状維持よりも再編統合を含め変化を求める意見が多く聞かれた。廃校後の計画は、小・中学校統廃合推進計画部会にて協議、検討をしている。

関西本線弥富駅自由通路新設及び橋上駅舎化工事の協定の変更について

問 工事協定金額が8億3千万円増額の理由は、

答 新型コロナウイルスや世界情勢の影響による急激な資材価格及び労務費の上昇によるものである。資材価格の上昇によるものが7億2千万円、労務費の上昇によるものが8千万円。

問 名古屋鉄道が増額計上されなかった理由は、

答 鉄製品使用量が、JR程多くない等の理由。

問 更なる削減の可能性はないか。

答 整備を進める中で、鉄道事業者と削減項目を検討しコスト削減に努める。

問 削減による機能低下や不便にならないか。

答 これまでに検討してきた計画を損なうことがない範囲で、工事費削減検討を行っている。

問 市は協定金額の上限の許容範囲を持っていたのか。

答 上限の許容範囲を定めてはいない。

問 この金額を受け入れなければならぬのか。

答 資材価格及び労務費の上昇による協定金額の増額変更であり、必要。

問 南口エレベーターの兼用化で南口上下移動の輸送能力は半減するののか。

答 全体の輸送能力は減少することになるが、大きな影響はないと考える。

問 エレベーターの設置費用1基の価格はいくらか。

答 概算で1基当たり約5千万円を見込んでいる。

問 兼用した場合の維持管理費用の負担割合は、

答 一定の負担割合において両者が負担するものと考えている。

本会議最終日



賛成 佐藤仁志議員

可決 議案第35号に対して

反対 那須英二議員

討論

教育を受ける中学生の、より良い教育環境の整備に向け不断の努力を求める。

プール等の対応が未確定で、地域住民との話し合いも不十分。